

希望の火

詩…クリス・モズデル
翻訳・遠藤暁及

舌先に火が付いたように、僕に語らせてほしい

消えることのない灰燼の記憶から舞い降り

そして皆の心の中から燃え立つた

まばゆい希望…

再生であり

新たな枝からの芽吹きであり

みんなの名において国から国へと運ばれていく

輝ける1つの火のことを

この火を、荘厳な勇気の華としよう

この火を、恵みの、許しの、そして慈悲の蓮華としよう

この火を、空なるもの内にある徳で、またたく光としよう

この火を、計り知れない霊的美しさの目覚めにしよう

この火を助けを差しのべる手としよう

この火ですべての苦しみを焼きつくそう

この火をすべての新生児が目覚める火花としよう

この火を何乗にも何乗にも広げよう

この火をすべての国旗に刻印しよう

この火を虚しさの心に芽生えた金色の種にしよう

この火を「慈悲について書いた本」を読む光としよう

この火を漂流者が暗い海を渡るときたいまつの松明としよう

この火を沈むことなく昇り続ける太陽としよう

この火を不正を照らし出す輝きにしよう

この火を大陸を横断するときの点滅信号としよう

この火を迷える船乗りたちの灯台にしよう

この火を他の星から来た使者が運ぶ吉祥としよう

この火を決して忘れない学びの体験としよう

この火を誰もが生まれ持つ権利としよう

この火を大歓喜にしよう

この火を崇高な、個々のいのちが生きた瞬間としよう

この火を僕たちを縛り付ける鎖を溶かす焦熱としよう

この火を遙かかなたから見えるようにしよう

この火をくらくらするほど魅惑溢れる力としよう

この火を山頂で薫じて煙る炎にしよう

「希望の火」…

まるで、生命の樹に初めて咲くモクレン

我が道を照らす、輝く捧げもの

これを僕らの瞳に灯そう

これに僕らは包まれよう

この火の時代が今、来たんだ！

僕らはこの火の光を息として吸い

僕らはこの火の願いを息として呼く

この炎を誰もが求めている安らぎの隠れ家としよう

地震のときには竹藪として大地を支え

押し寄せる津波には岩として盾になり

どんな風も、どんな嵐も、どれほど激しい雨も決して消せやしない

決して消せないんだ！

決して消せないんだ！

この火を僕らの血管の中に入れておこう

この火を真理の番兵にしよう

この火を存在にとつて万能の武器にしよう

この火を悲しみを消す暗殺者としよう

この火を変化を与える偉大なる霊媒としよう

この火を、僕たちに与えられる奇跡的な瞬間の燃料としよう

まばゆく燃やすんだ！

まばゆく燃やすんだ！

まばゆく燃やすんだ！

この火を

灰燼の中から燃え上がらせよう

皆の心の中から燃え上がらせよう

輝きがまし続ける希望としよう

復活の証

新たな枝からの芽吹き

わが道を照らす揺るぎなき光…

そしてこの火を運ばせよう

国から国へと、みんなの名において

この火を『平和』と呼びせよう

そしていつも灯してしよう

僕たちみんなの内に…。